

20011 生活経済学 Life Economics		1年次～ 前期 2単位	
担当者	浅野 義	履修可能学科	E Pe Pc C W F N
		関連資格	教職必(F)
サブタイトル	現代の生活経済		
授業内容 ・ ねらい	少子化・高齢化の急速な進行や環境問題の深刻化などさまざまな社会状況の変化のなかで、私たちの生活も大きく変容し、これに対応して人間生活の経済的な側面である生活経済のあり方も転換期を迎えています。 この授業では、経済学の基礎理論を理解し、生活経済の基本的な枠組を把握した上で、家庭の経済生活、消費行動と意思決定、消費者の権利と責任、消費行動と資源・環境、生活保障のそれぞれについて、現代の社会状況の変化を踏まえつつ具体的な事例の検討を通じてその理解を深めていくことにします。		
授業計画	第1回 オリエンテーション 第2回 経済循環 第3回 需要と供給 第4回 市場均衡 第5回 市場の失敗 第6回 不確実性と不完全情報 第7回 生活経済の仕組み 第8回 家庭経済と国民経済	第9回 消費行動 第10回 消費者問題と消費者保護 第11回 環境問題と消費行動 第12回 少子高齢化 第13回 生活保障①年金 第14回 生活保障②医療 第15回 生活保障③介護	
教科書 参考書	教) 高橋伸彰著『少子高齢化の死角』（ミネルヴァ書房）		
評価方法	期末試験、出席状況を総合して評価します。		
事前準備学習 履修条件等			